

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：11月第1週目）

- 1 第3四半期の投資呼び込み総額が34億米ドルに
- 2 リチウムの輸出収益が2億900万米ドルに到達
- 3 隣国の電力供給企業ら、ジンバブエ電力供給庁（ZESA）との契約を打ち切り
- 4 鉱物資源による歳入が29%減少
- 5 ジンバブエ、鉱業分野への投資増加が見られる
- 6 ムナンガグワ大統領、730万米ドルの燃料工場を始動開始、隣国の関心を集める
- 7 キンバリー・プロセス会合の開催

1 第3四半期の投資呼び込み総額が34億米ドルに

ジンバブエ投資開発庁（ZIDA）は、第3四半期報告書を発表し、34億米ドル相当の投資呼び込みに成功したと発表した。うち海外直接投資（FDI）は33億8千万米ドル、国内直接投資（DDIS）は2,790万米ドルを占めた。エネルギー分野が最も投資を集めた28億米ドルを記録、国ごとでは、中国、アラブ首長国連邦、ジンバブエ、インド、加、南ア、パキスタンからの投資量が最も多かった。（1日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/us34bn-investments-secured-in-3rd-quarter/>

2 リチウムの輸出収益が2億900万米ドルに到達

ソーダ鉱山・鉱山開発大臣は、ブラワヨ市で開催されている鉱山2023エキシビションで、2023年1～9月間のリチウムセクターにおける輸出収益が2億900万米ドルを記録したことから、この新たな機会を活かしてジンバブエの発展における膨大なポテンシャルが期待されていると述べた。2018年の同セクターにおける輸出収益は180万米ドル、2022年は7,000万米ドルであり、近年リチウム鉱石への需要が高まりを見せており、5年間で1000%増加した。（2日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/lithium-battery-exports-rake-in-us209m/>

3 隣国の電力供給企業ら、ジンバブエ電力供給庁（ZESA）との契約を打ち切り

ジンバブエ電力供給庁（ZESA）による数百万米ドルもの電力供給企業への負債が膨らんでいることから、ほとんどの電力供給会社がZESAとの契約を停止させたことにより、ジンバブエの停電状況は悪化を続けることとなる。現在ZESAは、通常一日あたり200MWのところ、50MWのみしか電力を輸入できていない状態にある。国内多くの地域で、一日あたり20時間以上もの停電が続いている。（2日付、デイリーニュース紙）

3日、ZESAは計画停電プランを発表した。モヨ電力開発大臣は、「電力輸入量は、日によって異なり、100MWや200MWを輸入できる日もある。」と述べた。1日時点での統計で

は、ワンゲ火力発電所は674MW、カリバ水力発電所は540MW、独立電力生産社（IPP）は38MWを発電しており、合計1252MWであるが、一日あたりの国内平均電力需要量は2000MWである。（3日付、デイリーニュース紙）

4 鉱物資源による歳入が29%減少

2023年上半期の鉱物資源による歳入が、商品価格の低下等により29%減少し26億米ドルとなった。（3日付、ニュースデイ紙）

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/business/article/200018961/mineral-revenue-slumps-29>

5 ジンバブエ、鉱業分野への投資増加が見られる

国内鉱業分野への投資は、過去2年間にわたり増加している。特に、鉱床探索、鉱山地拡大、鉱業建設における大規模な投資が見られる。リチウム、金、白金族金属、クロム鉄関連企業による大規模な投資が見られる。（8日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-sees-surge-in-mining-investments/>

6 ムナンガグワ大統領、730万米ドルの燃料工場を始動開始、隣国の関心を集める

7日、ムナンガグワ大統領は、730万米ドルの、エタノールの保管・管理を行うジンバブエ石油会社（NOIC）を始動開始させたことから、バイオ燃料バリューチェーンにおける外貨貯蓄、雇用創出、富の創造の機会が生み出されることが期待されることから、南アフリカとボツワナの関心を集めた。同工場施設が完了したことで、ジンバブエのエタノールの保管・管理キャパシティは、520万リットルから現在は、1,120万リットルとなった。

（8日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-fuel-facility-piques-regional-interest-as-president-commissions-us7-3m-plant/>

7 キンバリー・プロセス会合の開催

（1）ダイヤモンド産業におけるアフリカ大陸の存在が拡大

モハディ副大統領は、ジンバブエがキンバリー・プロセス議長国である期間中に、ダイヤモンド産業におけるアフリカ大陸の存在が非常に大きくなったと述べた。ダイヤモンド原石供給量の少なくとも65%が、アフリカ諸国生産によるものである。次期議長国はアラブ首長国連邦である。（9日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zimbabwean-tenure-helps-amplify-africas-voice-in-kp/>

（2）宝石研磨・精錬センターの設置完了間近

モハディ副大統領は、マニカランド州ムタレ郡に、ダイヤモンドの切削、研磨、精錬にお

ける職業訓練を行うための宝石センター設置完了において最終段階にあると述べた。(9日付、デイリーニュース紙)

報道リンク：<https://dailynews.co.zw/government-sets-up-diamond-college/>